

## 消 防 訓 練 実 施 報 告

当社では例年末に火災による避難訓練を実施しています。  
本年はあわせて大牟田消防本部の立会いのもと、屋外消火栓の放水訓練を実施しました。

### [事前打合せ]

- (1) 時 間 2022年12月13日(火) 11:00～11:30
- (2) 場 所 荷役課会議室
- (3) 参 加 者 樺島荷役課長(情報伝達者)  
岩永技術課長代理  
藤井荷役係長、仲山作業管理係長(避難誘導者)  
姫木荷役係員(火災発見通報者)  
事務局：川口安全衛生推進室長、山根安全衛生推進係主任  
山本総務係長

### [避難訓練]

- (1) 時 間 同日 15:00～15:11 11分
- (2) 想 定 荷役課給湯室で火災発生、各所へ火災を連絡し、5番バースへ避難、避難時人員の確認と消防への報告。
- (3) 参 加 者 大牟田消防本部予防課 指導係 大森副係長 原係員 (2名)  
荷役課 12名、技術課 8名、管理部 3名 安全衛生推進室 2名  
(計 27名)
- (4) 成 果 消防署(119)への通報及び各課への連絡方法及び連絡系統の確認ができた。  
避難誘導の方法及び避難動線の確認ができた。

### (5)大牟田市消防本部からの講評

慌てず、ゆっくり避難していたのはとっても良かった。  
火災の発生を連絡する場合、何処が、どのくらい燃えているかを知らせた方が良い。  
避難する時は、低い姿勢で(煙を吸わない)避難する。  
延焼を少なくするために、最後に避難する人はドア(扉)を閉めて避難する。  
本日は社員のみでの訓練でしたが、実際は来客等にも配慮する。

### [屋外消火栓放水訓練]

(1) 時 間 同日 15:00～15:40

(2) 場 所 1号倉庫前

(3) 参 加 者 大牟田消防本部 予防課 指導係 大森副係長、原係員 (2名)  
社長、荷役課 12名、技術課 7名、管理部 7名 安全衛生推  
(計 31名)

(4) 成 果

- ・消防署員による屋外消火栓の正しい取扱いをレクチャーしてもらい、あらためて消火手順の確認ができた。

(5) 大牟田市消防本部からの講評

- ・2名での消火体制でもよいが、屋外消火栓は水圧 (0.5MPa) が強いため、3名体制で消火に取り組んだ方が安全である。(設定基準: 0.25MPa 以上 0.6MPa 以内)
- ・ホースの接合部分やホース自体が傷ついたり、破れたりするのでホースは引きずらないように肩に担いで運ぶ。

### [後日の反省会]

(1) 日 時 2022年12月14日 11:00～11:30

(2) 場 所 本館第一会議室

(3) 参 加 者 事前打合せ者全員 8名、安居防火管理者

(4) 課題・問題点

#### ① 訓練の流れの見直し

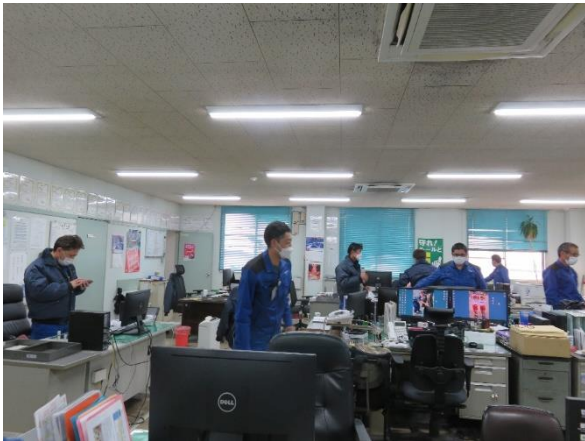
- ・119 通報、筑後地域消防指令センターには本番前に 2 回連絡する。(2 回目は訓練開始 10 分前)
- ・5 番バスへの避難は道路を横断するリスクがあり、また通常は施錠されているので避難場所は荷役課事務所北側駐車場に変更する。
- ・各課で避難完了時の人員及び負傷者の有無を確認する。避難者は整列待機する。
- ・119 通報は荷役課長がおこない、防火管理者への連絡は荷役係長がおこなう。
- ・誘導者を明確にする。(技術係長)

#### ② 屋外消火栓放水訓練

- ・消防による開始前レクチャーにより、スムーズに訓練がおこなわれた。
- ・消防署が用意したターゲットに的確に放水できた。
- ・放水訓練が初体験の社員もあり、消火栓の水圧を体感する事で良い訓練となった。

以 上

## 避難訓練(荷役課事務所)



- ・火災発見者通報により避難開始



- ・5番バースに避難完了



- ・防火管理者による消防への報告

## 放水訓練(1号倉庫消火栓)



- ・大牟田消防署員によるレクチャー



- ・放水開始



- ・消火